
人間

柊鏡

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人間

【Zコード】

Z8356F

【作者名】

柊鏡

【あらすじ】

キリスト教の聖人ピサロは、ある口悪魔に会つた。彼は恐れ戦いで、逃げようとした。

人間

キリスト教の聖人ピサロは、ある日悪魔に会つた。

彼は恐れ戦いて、逃げようとした。

逃げようとする彼の背中に悪魔が言つた。「何もしない」

「そんな筈はない。お前は悪魔じやないか」

強がつてみたものの、声の震えを抑え切る事は出来なかつた。

「悪魔だから、暴力は振るわない」

「嘘だつ！」

「悪魔は嘘を吐かない」

しれつと悪魔は言つ。

ピサロは言つた。「ならば 私を救ける！」

彼は道に迷つていたのだ。

「西へ進め。街に出る」

ピサロは悪魔の言等信じなかつた。

わざと東へ向かつたが迷うばかりだつた。若しかしてはと思い、西へ向かい直すと、街に出た。

街の門の前に悪魔が立つてゐる。「本当だつただろ？？」

「いや、これから騙す気なんだろ？」

「そんな事はない」

門の際に乞食の少女が座り込んでいるのをピサロは見つけた。

少女は物欲しそうな目でピサロを見た。彼が肩から提げてゐる鞄

には、乾燥パンが詰まつていた。

「やらんぞ！」

「聖人なのに？」悪魔が揶揄すように言つた。

ピサロはムッとした。

「お前は」

悪魔が手を掲げた。

すると天からパンが降ってきた。

「毒のパンだな」

「いやいや」

「ありがとう」少女はパンをぱくついている。毒が入っている様子はなかつた。

ピサロが言った。「如何してお前は悪魔のクセに、人間を救け、嘘も吐かず、暴力も振るわないのだ？」

悪魔は口の端をあげた。

「嘘を吐き、人間を見捨て、暴力を振るつてしまつてはそれは悪魔じやない。 人間だ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8356f/>

人間

2010年10月12日07時50分発行